



# かみふるの



2017 **9** NO.700  
こ う ほう



## 広報かみふるの700号発行記念 特集 かみふるの魅力を かみふるの皆さんに

### 主な内容

かみふっ子 全国の舞台で熱い戦い！  
第3回十勝岳トレイル in かみふるの・びえい  
第4回かみふるの十勝岳ヒルクライム  
平成29年度姉妹校交流推進事業  
はじめます コミュニティ・スクール

広報かみふるのに咲いた  
たくさんの笑顔(〇)

広報かみふらの700号発行記念

# 特集 かみふらの魅力を かみふらの皆さんに



昭和33年5月20発行の  
広報かみふらの第1号

今月は700号発行を記念し、600号から699号までの8年4カ月を振り返ってみたいと思います。

それから59年余りの間、行政情報や町が主催するイベントはもとより、町内の出来事や人々の生活など身近な情報を伝え続け、今月迎えた700号。これまで多くの職員が担当し、ひとりでも多くの方に手に取って読んでいただけたよう、それぞれが記事の内容やレイアウトを工夫し、紙面も変遷をたどってきました。

それが躍り、当時の海江田武信町長と福家敏美町議会議長の発刊のあいさつが掲載されていました。



毎月10日と25日に発行している広報かみふらの。第1号は昭和33年5月20日発行、表紙には「躍進する上富良野」とのタイ

## まちの魅力を伝える「特集」

昨年行った広報紙に関するアンケートの「一番好きなコーナー」で一番多かったのが「特集」。661号ではプレミアムアムビール「まるごとかみふらの」の販売開始に合わせて町の特産品「ホップ」の栽培の歴史と栽培農家の苦労など、673号では町の基幹産業である農業から芽生えた、生産者自らが加工し販売する6次産業化などの取り組みのほか、大正15年の十勝岳噴火から90年を迎えた昨年の685号では、当時の状況を

新聞記事と体験者の証言を中心にまとめ、歴史を現代に伝える取り組みを紹介するなど、上富良野の持つ多様な魅力、歴史の中の記憶を紙面に刻んできました。

その取り組みが認められ、北海道広報コンファレンスの広報紙町村の部において、平成25年から27年まで3年連続の入選、平成27年には組写真市町村の部とのダブル入選も果たしたほか、昨年は広報紙町村の部において特選となり北海道知事賞を受賞。高い評価をいただくことができました。



広報紙の「顔」ともいえる特集記事。これからも私たちのまち、かみふらのが持つ魅力を全力で皆さんに伝えていきます！

上段：かみふらののホップ物語 661号(平成26年6月10日発行)

下段右：想いはいつもここにある この大地に生きる 673号(平成27年6月10日発行)

下段左：絶望… その先にある希望に向かって 685号(平成28年6月10日発行)

## お知らせや連載記事にも工夫



お知らせも見やすく、内容によっては区別して目を引くようひと工夫

表紙は右ページにあるように、10日号では写真の使い方や題字の配置、25日号でも写真を使うなど大きく変化してきたのがわかります。

従来は「お知らせ」だけだった行事などの告知ページについては、「ピックアップインフォメーション」を設け、

## 現在の広報

## 過去の広報



圏域の情報、ちよこっと自慢(隔月)、ジオパーク誕生への道などへ変化

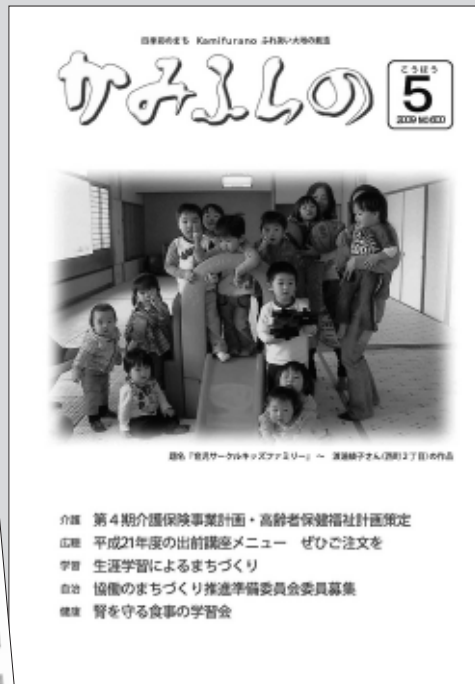
特に注目してほしい情報を大きく取り上げ掲載。ちよこっとした自慢を披露する「ちよこっと自慢」や町内の障がい福祉サービス事業所の活動内容の紹介など、町民の皆さんに登場いただけるコーナーも設け、広報を通して皆さんに繋がりを感じていただけるよう工夫を施しています。

# 600号から699号を振り返る



平成21年5月10日発行の600号では「かみふらの」が「わが家のアイドル」や「ふっこギャラリー」や「現在の「うちの元気印」など現在も続いている記事のほか、「担当職員による連載企画では手書きの挿絵を添えるなど、「風変わった記事も見られます。600号では「野球で町を元気にした

い」「障がいがあっても地域で生活し就労したい」、610号では他の町に住んだことのあき自衛官と「みんなの視線をまちづくり」をテーマに行われた「町長と語る」を掲載。子育てや「ミの分別、観光などについて意見交換する様子の記事が掲載されています。



上：現在よりもすっきりとしたデザインの600号の表紙

下：606号では障がい福祉サービス事業所の必要性について意見交換した「町長と語ろう」を掲載



この間は上富良野中学校の陸上部と吹奏楽部が大活躍。616号では陸上部3年の新関涼介さんの第37回全日本中学校陸上競技選手権大会出場、618号では吹奏楽部の東日

本学校吹奏楽大会2年連続の金賞受賞と陸上部3年の谷口創大さんの男子3千mジュニアオリンピック出場、619号では陸上部の全国駅伝大会出場など、全国の舞台で活躍する生徒の様子が紹介されました。



新関涼介さんは全国大会で6位入賞と好成績、谷口創大さんのジュニアオリンピック出場は昭和59年以来26年ぶりと、2人の部員がそろって大活躍！

## あの日のあの子に聞きました

616号に取り上げられた新関涼介さんにお話しをお聞きしました。



— 近況を教えてください

日本大学の4年生で箱根駅伝出場を目標に練習に励んでいます。けがで辛い時期もありましたが、最後の挑戦となる今年は調子も良好。正月には僕の走る姿を上富良野の皆さんにお見せできるよう頑張ります！

— 今後の抱負をお願いします

中学のとき町の皆さんの温かい応援のおかげで走ることの「楽しさ、うれしさ」も学ばせていただき「箱根駅伝」という夢を持つこともできました。今はその夢に手が届きそうです。支えてくれている皆さんへの感謝の気持ちを胸に、努力を重ねていきます。



特集 かみふの魅力を  
かみふの皆さんに

下：その月に起こる天文現象をわかりやすく伝えたいのほか、上富良野の星図も毎月掲載



上：延べ18人が2週間ずつ7班に分かれ、石巻市建築課で仮設住宅への入居事務を支援しました



628号では東日本大震災の復興支援として約3カ月間にわたり宮城県石巻市へ派遣された町職員の現地での活動報告、631号の「カメヲ見てあるき」では上富良野消防団結成100年を掲載。

見上げれば...が、改名前の「星空の紹介」のタイトルで635号でスタートしているほか、639号と640号では三重県津市との友好都市提携15周年を記念し「開拓、復興、そして未来へ 先人の偉業をしのび津市との絆を考える」「こんにちは！ 津市です」のテーマで津市の紹介などを行っています。



下：かみふのPRのためならどこへでも！ 上ホロカメットク山をバックにイエーイ♪

交えて紹介。60号では不定期掲載の気まぐれ企画「今日も あしたも あさっても やっぱりのましが好きだから」の第1弾がスタート。十勝岳温泉

642号では昭和8年の建設から80年を迎えた旧白銀荘について利用者のエピソードなどを



上：当初は迎賓用として建設され著名人も多く訪れた白銀荘。たくさんの登山者に愛され80歳



平成26年4月発行の689号では、67年の歴史に幕を下ろした東中学校の閉校式典などの様子をたくさんのお思い出が詰まった旧校舎の写真とともに特集。

国立公園指定80周年を迎え、662号では大雪山国立公園誕生までの歴史と公

園を守る人々の活動などが、広報担当が撮りためていた公園内の山々や動植物の写真を交えて紹介され「わたしたち山」の魅力を伝えているほか、次号では「星を見に行こう」と題して星空の写真とともに天体観測の楽しさ、上富良野西小学校の天文台と天体観望の様子などが特集されています。



上：2,080人の卒業生を送り出した東中学校。閉校しても思い出はずっと胸の中に…

下：いくつかの文献をもとに、あまり知られていない国立公園指定までの歴史を伝えた特集記事



平成27年、町内の学び舎の灯がまた一つ消えました。104年間地域の学校として、同3年からは特認校として特色ある教育に取り組んできた江幌小学校が閉校。671号では多くの卒業生が駆けつけた惜別会の様子などを伝えています。

下：コースの素晴らしさは日本でも有数と評される十勝岳トレイル。今年も289人が参加



676号では上富良野町と美瑛町を舞台に林道などを駆け抜ける山岳マラソン「十勝岳トレイル」の第1回目の模様を掲載。活火山特有の連続した岩場などを疾走する過酷なレースに挑む選手のほか、景色を楽しみながら走る親子連れなど、さまざまな楽しみ方があることが紹介されています。



上：惜別会では懐かしい思い出話で盛り上がる卒業生たちの姿がありました

# 特集 かみふの魅力を かみふの皆さんに

下：699号では津市との20周年記念事業の途中経過を報告。事業はまだ続きます



上：8月に3つの台風が北海道に上陸。1年間に3つの台風が北海道に上陸したのは観測史上初



昨年も上富良野中学校陸上部が全国の舞台で大活躍



昨年、北海道に大きなつめ跡を残した8月のトリプル台風。688号では河川や道路、農地の被災状況について報告。

新春号ではかみふらの120年の幕開けを飾った「北の大文字」を特集。30年間の軌跡を振り返り、大みそかの恒例

イベントにまで育て上げてきた関係者の想いをインタビューと写真で伝えているほか、「かみふ魂 全国の舞台で躍動！」と題して上富良野中学校陸上部3年の鈴木くるみさんが第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会A女子100mで大会記録をマークし優勝、北海道選抜として出場のABC女子共通4

×100mリレーでも優勝、2年の加藤璃里香さんがB女子100mで6位入賞の快挙を伝えました。三重県津市との友好都市提携20周年を迎えた今年は、697号で津市の紹介と提携の発端となった2人の人物を取り上げ、699号では記念事業の経過について報告しています。

## かみふの魅力を かみふの皆さんに

広報紙の製作は、町内の情報を町内にお届けする作業です。普段、町民の皆さんが見たり、聞いたり、体験できないことを取材を通じて私たち広報担当が見て、聞いて、体験したことをお伝えしており、その内容は行政情報や町内のイベント、地域の話題、頑張っている人であつたりするわけですが、それらはすべてこのまち「かみふら」の魅力、自慢できる財産であるとの思いで取材に臨んでいます。

もちろん、インターネットを通じてご覧になる方もいらっしゃるでしょうが、私たち広報担当はあくまでも上富良野の方に上富良野の良さを知ってもらいたい、その思いを胸に取材をし、迫ってくる締め切りと格闘しつつ(!!)紙面をつくっています。

昨年度は目標だった北海道広報コンクールで特選をいただきましたが、全国では入選すらありませんでした。もっともつと技術を磨き、誰が読んでも「いいね」と感じられる、そして町民の皆さんから広報紙を読んで「かみふってこんなにも素晴らしいまちなんだね」と言っていただけでも「かみふ」の隠れた魅力を掘り起こし、楽しく伝える広報紙をめざして努力を重ねていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

# かみふっ子

## 全国の舞台で熱く戦う！

この夏、空手、少林寺拳法、陸上の各種目で「かみふっ子」たちが全国の舞台で熱い戦いを繰り広げました。それぞれの想い、試合結果をお伝えします。

### 菊池瑛太 選手

8月5日(土)～6日(日)に東京都足立区の東京武道館で行われた第17回全日本少年少女空手道錬成全国大会(小学1年生組手の部)に菊池瑛太選手(上富良野小1年)が出場しました。

空手を始めたのは5歳で、きつかけは先に始めていたお兄ちゃん。今では週3回の町内の道場での練習のほかに、毎週木曜日は旭川の道場にも通つほど空手好きの瑛太くん。全道大会

の5試合中2試合では劣勢の中、終盤積極的に前に出て上段蹴りの大技で逆転勝利。決勝まで進み、優勝は逃したものの全国大会出場を決めました。父の茂治さんは「負けん気とあきらめない気持ちの強さが持ち味。力を出し切って1勝してほしい」。瑛太くんも「全国で優勝します！」と力強く抱負を話してくれました。

全国大会1回戦では、相手に突き2つを決めたものの2対6と惜しくも敗退しましたが、対戦相手は勝ち進みなんと優勝。その相手から2ポイントを奪ったのは瑛太くんのほかに1人だけだったそうです。今後の成長に期待できる大会となりました。

会木 駿 選手  
森田和磨 選手  
山本健人 選手

8月18日(金)～20日(日)に山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園武道館で行わ

れた第25回全国中学生空手道選手権大会に会木駿選手、森田和磨選手、山本健人選手(いずれも上富良野中3年)が男子団体形の部に出場しました。



練習でも息ぴったりの3人

空手を始めたのがほぼ同時期という3人。続けるか悩んだこともありましたが、先生の言葉や先輩の姿に勇気づけられ今まで続けられたと話します。

団体形の部では突きや蹴りの力強さと、3人の息の合った演武が審査のポイント。全道大会では決勝に進出した2組が全国へ進むため、3人は「準決勝がとにかく緊張しました。それぞれに悪い点を修正して挑み、決勝に進めるときはうれしかったです」。決勝では惜しくも破れましたが、全国に向け

「披露する演武の数も増えますが、残された時間でやれるだけのことをやり、優勝をめざします」と力強く話してくれました。

結果は予選1回戦で審判5人すべての旗が相手に上がり敗退。「やるだけやった」「力を出し切れなかった。悔しい」など、それぞれ全国大会での思いはあるものの「最後の大会を3人で戦えたことが一番うれしかった」との言葉に、所属する魁星館上富良野支部の村上之拓支部長は「どうすれば勝てるのか、自分たちで考えて練習するようになってから結果がついてきた。人生でつまずいたとき、自分の力で立ち上げれる強い心を空手を通して育んでほしい」とエールを送りました。

### 國本空良 選手

8月18日(金)～20日(日)に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで行われた第11回全国中学生少林寺拳法大会(男子個人単独演武の部)に國本空良選手(上富良野中2年)が出場しました。

小学生のころから大会では入賞するものの全国大会の経験はなく、中学生になった昨年も全道大会で決勝まで進んだものの残念ながら一歩及ばず。課



真剣な表情で練習に励む



大会前に気合の入った表情で練習

題を「演武に強弱が足りなかった」と分析し、その後は陸上部の練習を終えた後に週2回、大会前には毎日、課題だった演武を克服。レベルアップのため稽古を重ね、今年の全道大会では3位に入賞。全国への切符を手にし「全国でも決勝まで進みたい」と力強く抱負を話してくれました。

全国大会の予選では各コートから8人が通過。國本選手が出場したコートでは同選手を含む4人が8位と混戦でしたが、残念ながら予選通過はかきませんでしたが、「結果も大切ですが、全国の舞台に挑むことが良い経験になります」と、所属する少林寺拳法上富良野道院の山内智晴道院長。

その言葉とおりひと回り大きく成長した國本選手。「悔しくて涙が出そうになりましたが、来年優勝したときに流そうと我慢しました。まずは来月の大会を目標に頑張ります」と次の目標をしっかりと見据えています。

## 加藤璃里香 選手

8月19日(土)〜22日(火)に熊本県のえがお健康スタジアムで行われた、第44回全日本中学校陸上競技選手権大会に上富良野中学校陸上部の加藤璃里香選手(3年)が個人100m・200mに出場しました。

今や全道、全国大会の常連となっている加藤選手。今春、旭川市の緑が丘中学校へ転動した恩師、北村裕美先生の教えを頭の中で繰り返しながら練習に取り組み、全道大会では100mが2位、200mも2位の好成績でした。

ただ、今までと違うのが最上級生だという点。先輩の背中を追っていたのとは違い、今年は先輩にその背中を見せなくてはというプレッシャーと不安があつたと明かします。

100mと200mにエントリーしていますが、体への負担を考えて先に走る200mは棄権、100m1本に絞りました。予選はリラックスでき、自分の走りでの1位通過。しかし、準決勝では「スタートした瞬間、横に並ぶ全国レベルの選手たちの存在と迫力に焦ってしまい、いつもはタイムが伸びる後半も体が硬くなってしまう。絶対決勝までいけると思っていたのに…」と悔しさといった表情。「次の目標は10月に神奈川県横浜で行われるジュニアオ

リンピック。北海道でも全国でも、いつも2位ばかり。今度こそ一番になりたい」と次なる目標に向け、力強くスタートを切っていました。



全国大会予選をトップで通過

鈴木くるみ 選手  
山内沙耶佳 選手  
世坂比奈子 選手  
藤木 宏太 選手

7月29日(土)〜8月2日(水)に山形県天童市のND山形スタジアムで行われた秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会に鈴木くるみ選手(旭川龍谷高1年)、山内沙耶佳選手(遠軽高2年)、世坂比奈子選手(旭川北高3年)、藤木宏太選手(北海道栄高3年)が出場しました。

鈴木くるみ選手(旭川龍谷高1年) ■女子100m・200m

中学では全国優勝も果たした鈴木選手。現在は旭川龍谷高校陸上部で練習に励む毎日です。全道大会では100mが2位、200mが3位の成績で全国大会出場を決めましたが「100mでは1位になりたかった…」と悔しげな表情。そうして満を持して臨んだ全国大会では100m、200mともにまさかの予選落ち。

「スタートで出遅れたために、焦って巻き返そうと力が入り、体が硬くなってしまった。優勝選手との差は0.3秒。大きな差です」と冷静に敗因を分析。しかし、全国の舞台でも他の選手との力の差は感じなかったといいます。

秋の大会に向けて「いつもごおりの練習と、食事のバランスに気を付けて体づくりを中心に進めれば、全国でも上位の結果を残せると思います」と話してくれました。



来年の全国大会での上位入賞を決意

■女子砲丸投  
山内沙耶佳選手(遠軽高2年)

「昨年の全国大会は忘れたいほど悪い成績でした」。課題だった筋力不足を克服するため、冬にウェイトトレーニングにしっかりと取り組み、「やるだけのこととはやっただから、絶対全国に行ける。行けないはずがない」と信じていたと話す山内選手。全道大会の会場が慣れ親しんだ旭川市の花咲陸上競技場だったこともプラスに働いたそう。練習の成果もしっかり出せて昨年を上回る5位入賞。2年連続となる全国大会出場を決めました。

その後も「練習の虫」となって投げ続け準備万全で挑んだ全国大会では、調子が良過ぎて「もっと遠くへ飛ばせる」と逆に体に力が入り、実力を発揮できないまま予選敗退となりました。「結果は残念でしたが、また全国にきたいと思いました。私の目標は3年連続出場。そのためにきつくて嫌いな冬場の筋トレを頑張らない」と笑顔で話してくれました。



仲よし先輩と一緒に(左端)

■女子400mハードル  
世坂比奈子選手(旭川北高3年)



競技場で仲間とピース(左端)

中学でも陸上部に所属し全道大会の出場経験もあった世坂選手。高校では違う部活をと考えていたところ、顧問から誘われ再び陸上部に入り、勧められたのが中学の種目にはない400mハードル。「先生に『お前を全国へ連れて行く』と言われてビックリしました」

1年生のときは主に基礎練習、2年生での全国出場を目標に練習に励みましたが、全道大会で準決勝敗退。全国への壁の高さを感じ、大きな目標は3年生に持ち越しとなりました。弱点だったスタート時の緊張も、厳しい練習を乗り越えたことで克服し臨んだ今年の高体連全道大会でしたが、なんとスタートで出遅れ200mを過ぎても最後尾。しかし、あきらめることな

くラスト100mで3人を抜き5位入賞、念願の全国大会出場を決めました。顧問からは「1年前の世坂なら無理だったが気持ちも強くなり、必ず後半で巻き返して全国へ行けると信じていた」との言葉をかけられたといいます。全国大会では予選敗退となりましたが「全国レベルの速い選手と走れて楽しかった」と笑顔の世坂選手。将来の夢は教師だそう。「自分が経験したこと、教わったことを子どもたちに伝えたい」と目を輝かせていました。



全道大会で抜きにかかる(奥)

■男子5千m  
藤本宏太選手(北海道栄高3年)

「中学の先輩が北海道栄高校陸上部で全国高校駅伝大会に出場している姿をテレビで見ると、栄高校で走りたいって思いました」。白老町にある北海道

栄高校駅伝部に所属し、全国大会出場を果たした藤本宏太選手。1年生、2年生と全道駅伝大会のメンバー選ばれるも、けがに泣かされる日々。「走れないときは『治つたらみんなより早く走ってやる』っていう気持ちで、必死に筋トレに取り組みしていました」

3年生になり後輩にだらしのない姿は見せられないと、けがもなくそれまで以上に練習に励んだ結果、全道大会5千mで5位入賞。陸上を始めてから初の全国大会出場を決めました。しかし、大会3週間前に足をひねってしまい無念のねんぞ。タイムも順位も最下位という結果でしたが「誰のせいでもありません。自己管理ができていなかったんです」と落ち込んだ様子も見せずに話してくれました。「10月の全道高校駅伝大会では1区10キロを任されました。目標は区間賞です」と高校最後の大会に向け、心強い意気込みを話してくれました。



全国で力の限り走る

# 第3回十勝岳トレイル in かみふらの・びえい

8月20日(日)、町内をはじめ東京などから289人が参加し40・25・10kmのコースに挑みました。普段は通行止めの林道や川原を駆け抜ける厳しいコースに、がけに驚きながら慎重に歩を運んだり、歩きながらも懸命にゴールをめざす姿も見られ、参加者は「登りがずっと続いたり岩場もあったりでつらかった」「自然に感動しながら楽しく走れました」と笑顔を見せていました。



# 上富良野開基120年記念 第4回かみふらの十勝岳ヒルクライム

8月27日(日)、日の出公園から十勝岳温泉まで、道内最大級の標高差1千50mを駆け上がるレースに道内外から283人が参加しました。ゴール後には「ゴール付近の登りの傾斜がキツかった」「景色を楽しみながら走れました」などの声が聞かれたほか、下山後のフィニッシュパーティーでは上富良野産の豚串やメロンなどがふるまわれ、上富良野の自然と味覚を満喫するレースとなりました。





# 上富良野西小学校・三重県津市安東小学校 平成29年度姉妹校交流推進事業

上富良野町と三重県津市との友好都市提携締結に合わせ、上富良野開拓の父、田中次郎の出身地、三重県安濃郡安東村(現在の津市納所町)にある安東小学校と上富良野西小学校が姉妹校提携を結び3年に1度、児童による相互訪問交流を行っています。姉妹校提携20周年を迎えた今年は7月27・29日の3日間、上富良野西小学校の5・6年生8人が安東小学校を訪問、交流を深めました。

1日目 7月27日

【主な日程】

- ・新千歳空港↓中部国際空港↓高速船でなごさまちへ
- ・津市役所で前葉泰幸市長を表敬訪問
- ・松浦武四郎記念館見学
- ・安東小との対面式、夕食会、交流会



市役所では自己紹介や将来の夢、上富良野と三重県のちがうところなどを津市の市長さんとお話しました。松浦武四郎記念館では武四郎さんが三重県から歩いて北海道に来たことや、どんなことをしていたのかなどいろいろなることを知れました。交流会ではいろんな遊びをしました。お絵かきですよやったり、指スマの人バードジョンをやったりして、とても楽しかったです。

5年 内田楓さん



松阪市の松浦武四郎記念館にて



ゲームでお互いの距離を縮めた交流会

## 2日目 7月28日



### 【主な日程】

- ・三重県立博物館見学
- ・安東小で全校交歓会・学級交流会
- ・津コットハーバーでモーターボート体験
- ・津図書館で上富良野町パネル展見学
- ・ホームステイ

楽しかったことは化石レプリカ作りです。三重県立博物館で作りました。ほくはアンモナイトの化石ときょうりゅうの化石を作りました。特にすごかったのは、ミエゾウのこっかくひょう本です。人間と比べるとすごく大きいです。ミエゾウの足あともとても大きくてすごかったです。

5年 荒涼之介さん

交流会でほくたちは上富良野について問題をだしましたが、安東小の人た

ちはほとんど正解していてびっくりしました。安東小の人たちから歌とダンスをひろうしてくれました。英語の歌詞だったのですごいなと思いました。

5年 内田佑さん

ボートの後はスピードがでると、水しぶきがかかったりしてすごく楽しかったです。口の中に入るとしよっぱくて、海にきているなあという気分になりました。ホームステイで楽しかったのは水鉄砲です。近所の子たちも一緒に、10人くらいで遊びました。私の近所には子どもが少ないので、大人数で遊べてとても楽しかったです。

6年 北川愛深さん

ホームステイ先の夜ご飯は津ぎょうざと松阪牛でした。すごく豪華だったし、すごくおいしかったです。驚いたことはベビースターラーメンは三重県が発祥の地ということ。三重県が発祥の地と言われると友達や家族に言

いたくなります。他にも書いたものを消すことができるペンも三重県が発祥の地と言われています。

6年 大杉亮太朗さん

ホームステイ先の恵麻さんのお父さんアメリカ人と妹のいなちゃんと一緒に自転車でドライブをしました。すると、英語でいきなり2人がしゃべりだしたのでびっくりしました。なにやらふだんは、家族みんな英語で会話しているそうです。私は、すごいなと思いました。その時に、三重県のことを色々おしえてもらいました。

6年 西間優さん

## 3日目 7月29日



### 【主な日程】

- ・ホームステイ先とお別れ
- ・安東小で児童とのお別れ式
- ・中部国際空港→新千歳空港→帰町

楽しかったのは北海道になかない虫、動物を見たことです。見た動物はとかけです。安東小の体育館の近くの花だんのところにいました。すごくはやくて少ししか見れなかったです。虫はゴキブリです。ゴキブリはゲームや写真でしか見たことがないので、じっさいにこの目で見れてよかったです。三重の人はフェリーでついた時からかんげいしてくれて、帰るまでやさしくしてくれました。ほくは三重の人のようにやさしい人間になりたいと思いました。

5年 吉尾結人さん

驚いたことはしゃべり方です。最初はこれが三重の人のしゃべり方かと思っていてふつうに話していたけど、だんだん三重の人のしゃべり方がうつついて、帰ってから4日くらいそのままでした。ほくはこんな少ない時間でもうつるんだなと思いました。ほくは三重での楽しかったことやおぼろいいたことは全て初めてだったことだから、とても楽しかったです。色々なことがあるのでみんなにおしえて、三重がどんな所かを知ってほしいです。

6年 渡邊琥珀さん

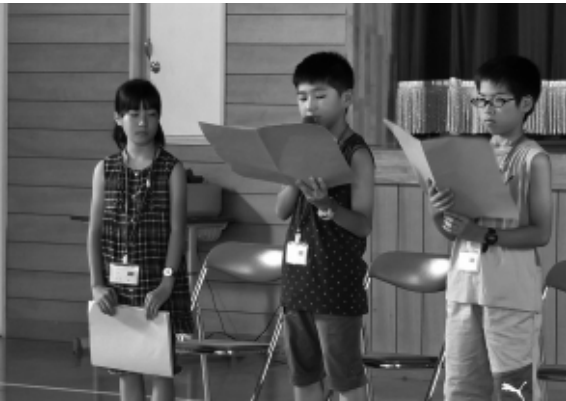
### 問合せ

教育振興課学校教育班

☎6699



博物館で化石のレプリカ作り



クイズ形式で上富良野を紹介



お楽しみのモーターボート。ドキドキ！



交流の思い出にと写真のプレゼント

※上富良野西小学校がまとめた作文集から児童の感想を抜粋、一部補足などをして掲載しています

# はじまります コミュニティ・スクール



## 地域とともにある学校づくりのために



子どもや学校が抱える問題が多様化する中、子どもの健やかな成長にはこれまでの「開かれた学校」からもう一歩進め、「地域とともにある学校」づくりが求められています。町でも本年度から上富良野西小学校にコミュニティ・スクールの準備会を設置し、平成30年3月の運営開始に向け取り組みを進めています。

問合せ 教育振興課学校教育班 ☎6699

### コミュニティ・スクールって？

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は年々複雑・多様化し、今まで以上に学校と地域の連携、協働が重要視されています。

コミュニティ・スクールとは学校と保護者、地域がどのような子育てをめざすのと同じ目標を共有することで、それぞれが当事者意識を持ち、それぞれの立場で子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

### 学校運営協議会

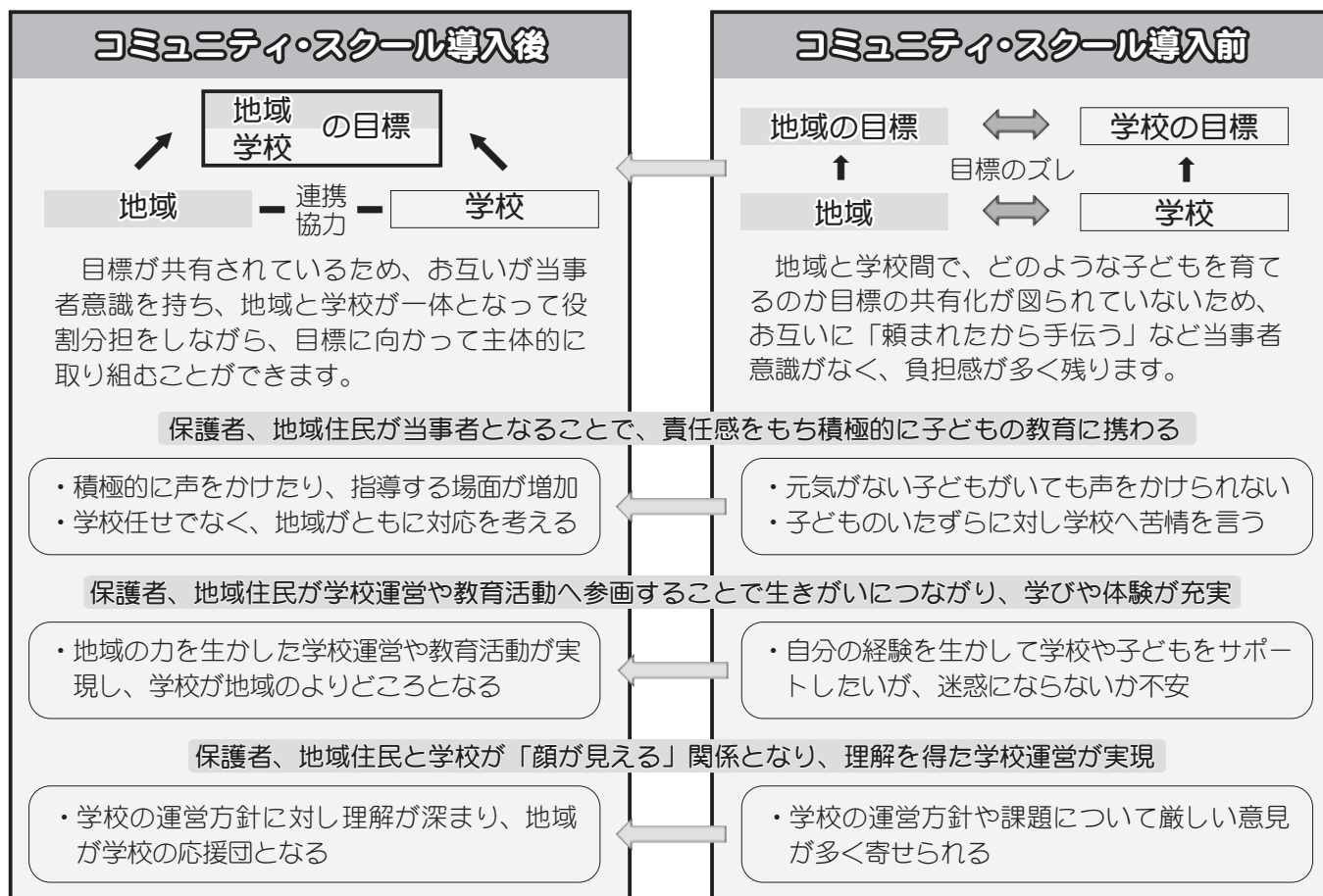
コミュニティ・スクールを取り入れるには学校運営協議会の設置が必要です。



- 委員は教育委員会が任命し、次のことに關して一定の権限と責任を持って校長に意見を述べることができます。
- ① 校長の作成する学校運営の基本方針に関する意見
  - ② 学校運営に関する意見
  - ③ 教育活動への協力や参加に関する具体的な意見

### 【こんな例もあります】

- ・豊かな体験活動の充実に向け、ふるさと学習を推進してほしい
- ・外国語教育の充実に向けて、外国語指導の先生を増やしてほしい



# 上富良野西小学校に

## 運営協議会準備会が発足

5/24

### 第1回 準備会

導入に向け、学校運営協議会のあり方を検討する第1回目の準備会が開催され、服部久和教育長による委員の委嘱状交付に続き、委員長と副委員長の選任、今年度のスケジュールについて確認しました。教育振興課学校教育班の松本敦学校教育アドバイザーからは平成30年度には町内の全小・中学校への導入を予定していることから、上富良野西小学校の先行実施に向け、委員会ですっかり議論を深めていきたいとの説明がありました。



第1回目の準備会では概要を説明

7/11

### 第2回 準備会



千葉校長が導入効果について事例紹介

第2回目はより踏み込んだ内容の意見交換となり、学校からの一方的な情報提供により地域が協力するのではなく、良好な地域社会に向けて学校と目標を共有し向き合うことで、学校への苦情が応援に変化するなどの事例を千葉憲史校長が紹介。  
保護者からは「地域はもちろん、準備会の委員以外の保護者にも取り組んでいる内容を伝えてほしい」、コミュニティ・スクール導入に対する意見を聞いてほしい」などの意見が寄せられました。

8/26

### 道北ブロックコミュニティ・スクール協議会

上川総合振興局で行われ、北海道コミュニティ・スクールアドバイザー伊達市教育委員会教育部の櫻井貴志参与による講話「コミュニティ・スクール導入に向けて」、導入自治体による事例発表のほか、導入・未導入自治体



導入のポイントを説明

に分かれたグループワークでは現状の課題と成果を意見交換。参加した準備会委員は「準備会では課題が多いと感じていましたが、既に実施している地域の取り組みや講話を聞いてイメージできました。西小学校の区域外の方にも制度を理解してもらえよう、どのように伝えるかが今後の課題です」と導入に向け理解を深めていました。



課題と解決方法について意見交換

### 上富良野町PTA連合会

## 教育講演会

町PTA連合会では平成31年3月から町内の全小・中学校に導入を予定している「コミュニティ・スクール」についての講演会を開催します。どなたでも参加できます。当日、直接会場へお越しください。



#### 日時

9月27日(水) 18時30分

#### 講師

北海道大学学務部長 出口寿久氏

#### 演題

「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地方創生」

#### 場所

上富良野小学校

#### 問合せ

上富良野町PTA連合会  
(事務局:上富良野小学校)

☎2052

### 8/4 鉄道をもっと利用して ご当地キャラと撮影会

鉄道利用を盛り上げようと、旭川・富良野間の自治体で構成するJR富良野線連絡協議が各駅のホームでご当地キャラとの撮影会を行いました。

キャラクターのない美瑛町を除く各駅で行われ、上富良野駅ではらべとんが11時から12時30分の間で発着する4本の列車をお出迎え。思いがけない歓迎に観光客から笑顔がこぼれたのもちろん、地元の高校生からも「わあ、らべとんだあ〜♥」この声が上がると、どの人気がぶりで、時間の許す限り記念撮影に応じていました。



重装備の登山客も思わず笑顔(´o`) はいチーズ!!

### 8/5 演劇とワークショップ に笑顔 風の子北海道



新聞紙を使った遊びにみんな大はしゃぎ

劇団風の子北海道による演劇「きたがぜのおくりもの」鑑賞とワークショップが東児童館で行われました。

劇にはお金持ちの兄と貧乏な弟が登場。弟をふびんに思った北風が、ほしいものが出てくる布をプレゼントすると強欲な兄が早速横取り。最後に北風がイタ〜いお仕置きをする、自分勝手な兄もさすがに反省するというストーリーで「兄弟仲良く助け合いなさい」とのメッセージが伝えられました。終了後には演劇前に「風」のイメージを伝えるため紹介した新聞紙遊びを体験。子どもたちは「ロケットを作ったり、キャッチボールしたのが楽しかった」と笑顔で話していました。

### 8/5 大鼓の音に誘われて： 納涼・仮装盆踊り大会

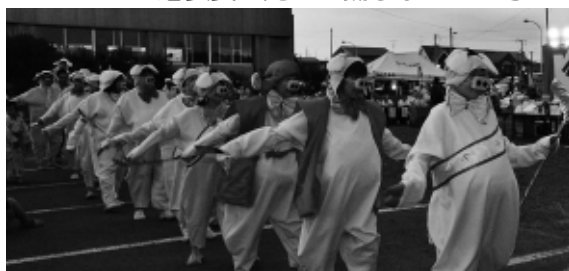
旭・宮町・東明住民会合同による納涼盆踊り大会が8月4日、東児童館クラウンドで行われ、大鼓の音と音楽に誘われてたくさんのお親子連れが会場に詰め掛けました。

お楽しみの子も盆踊りではあつとつという間にやぐらを囲んで三重、三重に輪が広がり、浴衣に身を包んで歌に合わせて踊るかわいい姿が会場に華を添えていました。最後には参加賞のお菓子も用意され「保育園でも踊ってるから上手に踊れたよ」と、うれしそうに受け取っていました。

5日には5年ぶりに復活した仮装盆踊り大会が役場裏広場で開催。主催した「開基120年を盛り上げる会」の加藤



かわいい浴衣姿で元気に踊る子どもたち



チョッキの2人は今年還暦。足して(開基)120年



奇抜な仮装のスコップ三味線。後方は藤娘

祐一会長が「皆さまの協力で本日を迎えることができました。このイベントが地域が元気になる礎になれば」と涙ながらにあいさつすると「がんばれ!」と熱い声援が飛んでいました。会場は用意された約600席がほぼ埋まるほどの盛況ぶりで、辺りが暗くなり始めたころ5団体8個人による仮装盆踊りがいよいよスタート。色鮮やかな着物の「藤娘」や面白メロウの「茶つみつ娘」のほか、子連れ狼、Tシャツに短パンで「イエーイ」と叫ぶ姿でおなじみのお笑い芸人「サンシャイン池崎」などの仮装も飛び出し、会場は心地よい夏の夜風と大きな笑いに包まれていました。

※2つの盆踊り大会は「上富良野町協働のまちづくり推進補助金」を活用して実施されました

## 8/5 夏の一日を遊び尽くせ 野外体験キャンプ

子ども会育成協議会による野外体験キャンプが8月5日～6日の間、東中小学校で行われ、町内の小学生とジュニアリーダーパレットの高校生、合わせて13人が参加しました。

小学校に到着すると、早速テントの設置作業。テントを固定するペグを地面に打ち込む作業では、風などで抜け



協力しながらペグ打ち



飯ごうで炊いたおこげもウマイ！



はあ～、いい湯だな♪



スタンプラリー挑戦中

ないよう斜めに打つのに苦戦したものの、協力しながら何とか完了。

夕食のカレーライス作りでは、普段はお手伝いをしたことがないという子もあり、真剣かつ慎重にシヤガイモやニンジン、皮むきに挑戦。ご飯係と野菜係が力を合わせてつくった「力作」に「うまっ！ マジうまいっ!!」の声

が飛び交っていました。日没後はみんなお楽しみみのドラム缶

び直して何度か入る子が続出するほどの人気ぶりです。「初めて入っただけど気持ちよかったです」と野趣あふれる入浴タイムを満喫していました。

ほかに東中神社や開拓記念館でスタンプラリーにも挑戦。設問にある記念碑などを探検しながら見つけるなど、町の歴史についても学びました。

## 8/6 地域の方も一緒に 開拓記念館20歳！



試食コーナーでは「おいしいっ」が連発！

今年開館20年を迎えた町開拓記念館の記念事業が行われました。

史跡などを巡るスタンプラリーやフットパスのほか、草分防災センターでは草分地区の方が制作した「開拓の歴史」津から上富良野へ」が上映されるなど内容盛りだくさん。

昼には草分住民会の協力によりふるさとの味試食コーナーも用意され、メロンやカボチャ、シヤガイモなどこれたての食材がズラリ。参加した中学生は「上富良野についてもっと知りたくてスタンプラリーに参加しました。遠くまで行って疲れましたが、お昼のトウモロコシなどがとってもおいしかったです」と笑顔で話してくれました。

## 8/9 相手を思う心と技術を 上富良野高で介護研修



相手の体を支えつつ声を掛けながら誘導

上富良野高校の生徒と町内の希望者を対象にした介護職員初任者研修が6月24日～8月26日の間、同校で実施されました。

この日は、排せつ障害についての座学に続き、ポータブルトイレやベッドを使つての実習。講師の「相手の気持ちを考えて、本人ができない動作を確認しながら手助けすることが重要」とのアドバイスを念頭に、介護される役

の生徒に声を掛けながら自分で手順を考え、トイレへ誘導していました。参加した生徒は「高校卒業後はこの資格を生かして就職する予定です」と資格取得と相手を思いやれる介護士をめざして実習に励んでいました。



きれいになった山頂標識と20年目の記念撮影

8/12 命名から20年 あの日  
を思いつつ記念登山会

上富良野十勝岳山岳会による上富良野岳命名20周年記念登山会が行われ小学生を含む16人が参加しました。  
雲が低く天候が心配されましたが、十勝岳温泉登山口は何と雲の上。山並みもくつきり見える登山口和となり、眼下に雲を見下ろしながら、ゆっくりと約3時間かけて上富良野岳山頂へ到着しました。回会の前会長、富樫賢一さんは20年前の記念登山を振り返り「あの時は120人へらいで登りました。乾杯用に雪深で冷やしておいた飲み物が数本盗まれていて、急いで凌雲閣まで戻って、追加で運んだのを思い出しますね」と当時のエピソードを懐かしそうに語っていました。



きれいに丸めるのが難しい…。でも楽しい!!

8/10 個性豊かなお菓子が完成!!  
和菓子作り体験

NPO法人放課後NPOアフタースクールなどによるスマイリアフタースクールが保健福祉総合センターかみんで小学生を対象に行われました。  
東京都で和菓子店を営む西尾健さんを講師に今回挑戦したのは「上富良野の夢」と題したゼリーと練り切りづくり。練り切りの小豆あんを白あんで包む繊細な作業では、白あんを薄く延ばした西尾さんのお手本をもとに黙々と作業を進め、それぞれの個性が表れたおいしそうな和菓子に仕上がりました。参加した女の子は「お菓子作りは初めてだったけど、丸めたりする作業が面白かった」と満足げな表情で話していました。



鍵を開ける空き巣の手口を実演で説明

8/22 空き巣はどんな家を狙う?  
実践型防犯教室

富良野警察署による「実践体験型防犯教室」が上富良野消防署で行われ、20人が振り込め詐欺や空き巣などの手口、対策方法を学習しました。  
防犯ガラスを参加者が実際に割って強度を確かめる実験では、網入りでも簡単に割れる様子に驚きの声が上がったほか、空き巣は無施設時に入られることが最も多いとのデータも紹介され、講師は「除雪やコンビニに行く際も手間を惜しまず、鍵を掛ける習慣をつけて」と呼び掛けました。  
参加者は「空き巣の手口の映像を見て恐ろしいと思いました。油断せず、できることから対策をしようと思います」と話していました。



さあ皆さん一緒に歌いましょう!

8/14 歌って聴いて心と体を健康に  
音楽療法体験

筋萎縮性側索硬化症(ALS)北海道支部により保健福祉総合センターかみんで行われました。  
音楽療法は音楽の持つさまざまな効果を利用して心身の健康保持を図るもので、講師のNPO法人 和・ハーモニ音楽療法研究会の中山ヒサ子理事長は「歌うことで呼吸が深くなり、血行促進や落ち込んでいる心の改善につながる。聴くのもリラククス効果があります」と説明。楽器演奏に合わせて「真つ赤な太陽」や「上を向いて歩こう」など9曲を、参加者と一緒に歌いました。参加者は「懐かしい歌を口ずさむことで、気持ちが晴れ晴れしました」と効果を実感していました。



楽しく学ぼう  
いつまでも!

# 生涯学習情報

問合せ・申込み  
教育振興課社会教育班 ☎5511

## 社会教育施設の 定期利用希望調査



平成29年度後期(11～4月)の社会教育施設の定期利用希望を受け付けます。社会教育総合センターと学校体育館の利用は社会教育総合センターへ、公民館の利用は公民館へそれぞれ使用希望表を提出してください。  
定期利用以外での申込みも受け付けていますので、予定のある方はあらかじめの使用申請書を提出してください。  
申込期限 9月29日(金)

## お忘れなく 小学校新入学児童の健康相談

来年度、小学校に入学されるお子さんを対象に内科検診、歯科検診、健康相談を行いますので必ず受診してください。

保護者には各時間帯別でご案内します。時間の変更や不明な点などは下記までお問合せください。

対象 平成23年4月2日～平成24年4月1日に生まれたお子さん

日時 10月5日(木)～6日(金) ①9時 ②10時 ③13時

場所 社会教育総合センター

問合せ 教育振興課学校教育班 ☎6699

## 図書館まつり

読み聞かせ会に参加すれば読書スタンプ帳にスタンプがもらえるほか、本を借りるとスタンプがいつもの2倍。本や物語が好きになるイベントも盛りだくさん。お友達や家族と一緒に図書館まつりに行こう!!



日時 10月7日(土) 10～16時  
場所 図書館「ふれんど」、公民館  
内容・時間

### 本のリサイクル

図書館の古本や寄贈された本を無料で配布します 10～16時

### 図書館「ふれんど」読み聞かせ会

趣向を凝らした読み聞かせです。どんなお話かは当日のお楽しみ♪  
13～13時30分

### 読み聞かせボランティア団体による読み聞かせ会

【読み聞かせ会(ムーミン)】  
読み聞かせフェア(大型絵本、紙芝居、エプロンシアターほか)  
10時30分～11時30分

### 【ふらの・ものがたり文化の会】

宮沢賢治作品の朗読  
13時30分～14時30分

### 映画鑑賞会

14時30分～16時

### 第42回読書コンクール入選作品展

問合せ 図書館「ふれんど」  
☎3158

## 町民芸術劇場

### トリオベールコンサート

ピアノ(明和史佳)とヴァイオリン(竹添みどり、村原実穂)によるクラシックコンサートを開催します。  
日時 10月9日(月・祝)  
17時30分開場 18時開演

場所 保健福祉総合センターかみん

入場料 無料(整理券を社会教育総合センターと公民館で配布。1人2枚まで)

## 総合文化祭参加者募集

11月3日(金・祝日)～5日(日)に開催する第54回総合文化祭への出展・出演者などを募集します。

### 町民作品展

趣味などで制作している作品を出展しませんか  
展示期間 11月3日(金・祝日)～5日(日)

場所 社会教育総合センターアリーナ

内容 絵画、手芸、書道、写真、陶芸など(1人1作品)

### フリーマーケット

ご家庭で不要になったものや手作り品を販売してみませんか  
日時 11月4日(土) 10～15時

場所 社会教育総合センターラウンジ

内容 日用雑貨、衣類などの販売(加工食品などは不可)

募集区画 20区画(1区画2m×2m、先着順)

### 小さな音楽会

日ごろの練習・活動の発表の場として出演してみませんか  
日時 11月5日(日) 14～15時30分

場所 社会教育総合センターラウンジ

対象 音楽愛好者(個人、団体、サークル、仲間など)

内容 楽器演奏、コーラスなど(演奏時間は10分以内)

【申込方法】 社会教育総合センターにある申込書を提出

【申込期限】 10月4日(水)  
※搬入、搬出などの日程は申込時にお知らせします



## 上富良野町成人式

町内在住の対象者には、12月にはがきでご案内します。

日時 平成30年1月7日(日)

受付13時30分 式典14時30分

会場 保健福祉総合センターかみん  
対象 平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方



特別職の給料と議会議員の報酬については審議会の答

☎6400

## ぜひね

### かみぶらのまるしえ

小さな街の手仕事市〜秋の贈り物〜

町内のハンドメイド愛好家が

出店する「かみぶらのまるしえ」が開催されます。かわい

い手づくりアクセサリーや雑貨などの販売ほか、町内2つの障がい福祉サービス事業所も特別出店します。

日時 9月24日(日)

10時30分〜16時

場所

保健福祉総合センターかみん

■展示販売

バッグやポーチ、大人・子ども服、木製品などおしゃれな手

づくり作品が勢ぞろい!

■手づくり体験ワークショップ

■飲食コーナー

パンケーキ、焼き菓子、豚丼などを提供

■お楽しみ企画

手づくり小物がもらえるスタンプラリーを実施(先着100人)

問合せ かみまる実行委員

会長 嶋崎貴子

☎090・8543・6647

※本事業は「上富良野町協働のまちづくり推進補助金」を活用して実施されます

## 報告

### 特別職の報酬等額の改正に対する答申を受理

町長、副町長、教育長、議会議員の報酬等額の改正について上富良野町特別職報酬等審議会から答申を受けました。

特別職の

給料と議会

議員の報酬

については

審議会の答

申を受け改正するもので、今回は上川管内の自治体の状況、本町の財政状況などを参考に検討

した結果、引き上げる内容となりました。答申書の内容は町の

情報提供コーナーとホームページに掲載しています。

問合せ 総務課総務班

☎6400

## かみぶらの環境フェア

### エコ

環境やエネルギーについて考える展示や、体験できるメニューを用意しています。

日時 10月1日(日)

10〜16時

場所 社会教育総合センター

内容・時間

■常設展示

省エネルギー、新エネルギーに関する

パネルを展示

■体験コーナー(参加無料)

事前申込みが必要。定員に満たない場合は当日も受け付け

・リサイクル工作・エコグッズ

配布 10〜14時

・廃食用油アロマキャンドルづくり(先着15人)

13時30分〜15時

・エコカー展示・試乗 10〜16時

■食品ロスをなくそう!・リメイクレシビ試食会 11時

■リユースフェア

ご家庭で不要になった衣類などを無料で提供 10〜14時

※リメイクレシビとリユース

フェアはなくなり次第終了

問合せ 町民生活課生活環境班

☎6985

## 秋を

### かみぶらの収穫祭

地元の味を地元の皆さんに

地元かみぶ産の野菜、皆さんはどれくらい食べていますか?

畑と田んぼ、そして十勝岳連峰に囲まれた私たちのまち、上

富良野の大地が育んだ新米や秋野菜を味わい、楽しむ「かみぶらの収穫祭」を開催します。

地元産食材を使用した加工品

も販売するほか、今年は友好都市提携20周年を迎えた三重県津

市からも生産者の皆さんが来町し、津市特産の野菜を販売する

予定です。

また、ビールの原料となる大

麦とホップの両方を生産するか

みぶならではの催しとして、2

017年産のとれたてホップを

使用した「まるごとかみぶら

のPremium」のビアホールと、道内各地のドラフトビールが味わえる特設コーナーも開設。クイズなどさまざまなアトラクションもご用意しています。ぜひお越しください。

日時 10月15日(日) 10時

場所 公民館

内容・時間

■新米、とれたて野菜、加工品

等販売コーナー 10〜16時

■地元産食材を使った子ども料理

教室 11〜12時30分

※事前申込みが必要

■飲食ブース 10〜19時

■ドラフトビールコーナー 13〜19時

■まるごとかみぶらのPremiumビアホール 16〜19時

※ビアホール前売りチケット

(1千200円)は9月15日(金)から左記で販売

チケット取扱場所

農業振興課、企画商工観光課、上富良野町商工会、かみぶらの十勝岳観光協会

申込み・問合せ

農業振興課農業振興班

☎6984



地元のおいしい食材がズラリ

## 十勝岳紅葉まつり

町内5カ所を巡るスタンプラリーでは記念品のプレゼントのほか、抽選で豪華景品が当たるチャンスも！見晴台公園会場では秋の味覚の無料試食や地元産野菜の直売、十勝岳温泉会場でも湯元凌雲閣横で味覚市を開催します。美しい紅葉と一緒に楽しんでください。



日時 9月30日(土)～10月1日(日)  
10～15時  
場所 見晴台公園、十勝岳温泉郷  
問合せ かみふらの十勝岳観光協会  
☎453150

## 子育て

### 地域福祉講演会

子どもの健やかな成長には家族や地域とのかわりがたいことも重要です。子どもと家族が地域の中で楽しく生活できるよう福祉の分野から、足寄町こどもセンターの佐々木浩治所長を講師に「子どもの育ち、家族の育ち、地域の育ち」と題してお話していただきます。

日時 9月22日(金) 18時30分  
場所 保健福祉総合センターかみん

※託児あり。必要な方は9月19日(火)までに連絡ください  
問合せ 子どもセンター  
☎456501

## わいわいらいふ

いつも子どもセンターを利用している方はもちろん、「子どもセンターって？」という方、お父さん、お母さんだけでなくおじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちと一緒にぜひご来場ください。

今回は特別企画として町内3つの障がい福祉サービス事業所の協力によりキャンドル、らべとんマグネット、木製スプーンなどの小物販売も行います。

日時 9月30日(土) 9～12時  
場所 子どもセンター  
内容 ミニ縁日、絵本の読み聞かせ、狂言であそぼう

問合せ 子どもセンター  
☎456501

## 年金相談所開設

旭川年金事務所では毎月1回「年金相談所」を開設し、厚生年金・国民年金の請求手続きなどの相談をお受けしています。1週間前までの事前予約が必要です。

日時 10月12日(木)  
10～16時30分

場所 富良野市役所  
申込み・問合せ

旭川年金事務所お客様相談室  
☎0166-72-5004

## 保健

### かみんプール利用休止

10月9日(月・祝)～12日(木)は清掃、点検のためプール・浴室の利用を休止します。

問合せ 保健福祉課福祉対策班  
☎456987

## 人事

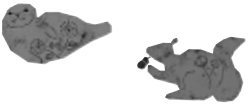
### 上富良野町職員人事

採用(9月1日付)  
白井宏子(保健福祉課)  
問合せ 総務課総務班  
☎456400

## かみんプール教室スケジュール 【10月1日～12月30日】 問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎456987

	月	火	水	木	金	土	日
9時	一般利用	一般利用	一般利用	一般利用	一般利用	一般利用	一般利用
9時30分		陸上筋トレ30分		陸上筋トレ30分		陸上筋トレ30分	
10時	アクアビクス(45分) ②・③ 水中でエアロビ	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	チェンジボディ(40分) ①・① 腰痛さんに最適	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	パワー筋トレ(40分) ③・② めざせ筋力UP	頑張るダイエット(40分) ②・② 水中+陸上で運動	一般利用
11～14時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						
14時	燃焼ウォーク(40分) ②・② 脂肪を減らそう	ルンルンアクア(40分) ①・② 簡単リズム運動	チェンジボディ(40分) ①・① 腰痛さんに最適	スリムウォーク(40分) ②・② やせる体づくりに	脚力のすすめ(40分) ②・② 膝痛さんに最適	一般利用	
15～19時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム) ※土・日曜日は15時～15時20分						
19時	チェンジボディ(40分) ①・① 腰痛さんに最適	スリムウォーク(40分) ②・② やせる体づくりに	よくばりアクア(50分) ②・③ 水中運動の総集版	燃焼ウォーク(40分) ②・② 脂肪を減らそう	パワー筋トレ(40分) ③・② めざせ筋力UP	脚力のすすめ(40分) ②・② 膝痛さんに最適	一般利用
～20時30分	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						

\* 表の○で囲んだ数字は左が『きつさ』、右が『難しさ』を表しています。数字が大きくなるに従ってきつく、難しくなります  
\* 「頑張るダイエット」は9時30分から30分間、陸上での筋力トレーニングの後、プールで有酸素運動を40分間行います  
\* 「流水タイム」の間はフロアマシンが利用できます。時間内は1コース使用しますのでご了承ください(日曜日は15時のみ)  
\* 初めてプールに入られる方は個別に対応いたしますので、プールスタッフに声をお掛けください



きたむら たいしやく  
**北村 太麓** くん  
(平成24年生まれ)



恐竜のアトラクションを見に行った時の様子。「恐竜に追いかけてびっくりしたけど面白かった」。恐竜について現在、お父さんと勉強中。ディメトロドンの背びれがお気に入りです♪

作品名『夏の思い出』



「海の水がしょっぱくて体がかゆくなったけど、焼き肉をしたり泳いで楽しかったよ」。家族で留萌の海に行った時の様子で、自分の黄色い飾りが付いた紫の水着もすてきに描きました♥



はばなか あん  
**幅中 杏** ちゃん  
(平成23年生まれ)

◆初日から緊張感たっぷり  
十勝岳ジオパーク構想の将来像などの概要説明に続き、ジオパークの活用などについて上富良野・美瑛両町長と各専門部会への公聴会を実施。審査員による厳しいツツコミ(ツツ)が次々と飛び交い、予定を約1時間半ほど過ぎてようやく終了。その後は協議会のメンバーでジオサポーターでもある上富良野十勝岳山岳会

ジオ林崎・ジオ田中の  
**十勝岳ジオパーク**  
 誕生への道  
 問合せ 企画商工観光課ジオパーク推進室 ☎69994



安政火口への登山道で植生について説明

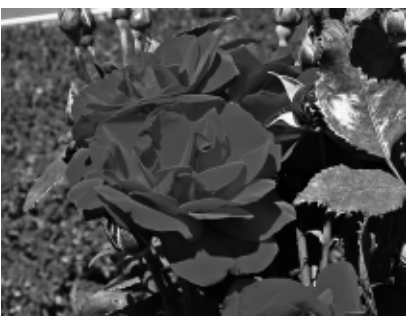
動物物の生息状況などを説明しました。最終日の総評では審査員から「地域住民のジオパーク活動への理解や主体的な活動の取り組みが足りない」など厳しい指摘も…。いただいた数々の(!!)言葉を胸に、地域全体で盛り上がるジオパーク活動にしていきたいと思っています。

◆ついに来ちゃった「現地審査」！  
今月はジオ林崎が8月2〜4日に行われた日本ジオパーク認定の最終関門「現地審査」についてお伝えします。日本ジオパーク委員会から神奈川県立「生命の星・地球博物館」の平田大二館長、日本ジオパークネットワークの推薦で徳山大学の柚洞一央准教授、近隣のジオパークから白滝ジオパークの熊谷誠専門員の3人が審査員として現地入り。私たちをはじめ関係者の皆さんの取り組みの真価が問われる、恐怖の3日間が幕を開けたのでした。

の井上文雄会長の案内で草分地区の大正泥流の痕跡を見学したほか、日の出公園展望台ではこの地域の大地の成り立ちなどについて、緊張のあまりしどろもどろ(汗)ではありましたが私、ジオ林崎が解説させていただきました。◆総評での厳しい言葉を胸に： 2日目も協議会のメンバーでジオサポーターの2人が大活躍。安政火口では十勝岳温泉湯元凌雲閣の青野範子さん、白銀荘望岳台の登山道と青い池などでは美瑛・白金ネイチャークラブの小倉博昭さんが十勝岳の火山活動、

## ねえねえ 見て見て！ かしこの ちょこっと自慢

### 大町3丁目 巽 俊明さん 花の香りに包まれるお庭



ちょうど真っ赤なバラが開花中！ トゲがあり、お手入れもひと苦労

きれいな花があふれる巽さんのお庭。常に花を楽しめるよう春にはチューリップを植え、それが枯れた後は球根ごと掘り起こし、種から育てたマリーゴールドやサルビアを庭いっぱい植え替えます。過去には市販の苗を買って植えていましたが「種から育ててみよう!!」と思い立ち、春先に自宅の中でプランターに種をまき、苗になるまで大切に育てています。中でも玄関前から裏庭にかけて植えたピンクや赤、白のツルバラは「四季咲き」という年に3〜4回花を咲かす品種で、満開の時期には辺りが花の香りに包まれます。「近所の人や通りがかった人が『今年は何色の花を植えるの?』って声をかけてくれるんです。これからも楽しみにしてくれている皆さんの声を励みに、自分も楽しみながら育てていきたいです」と話してくれました。

今月のテーマは…  
**秋のイベント!**

**富良野市 ふうらのチーズ祭り**  
大理石模様が目を引く「フインチェダー」、冬の大地をイメージしたイカ墨入りカマンベールなどユニークなふうらのチーズをこの機会に味わってみませんか?

日時 9月17日(日) 10:00~  
場所 富良野チーズ工房  
内容 売店商品10%引き、模擬店、福引き、輪投げ、ポニー騎乗体験  
問合せ 富良野チーズ工房 ☎1156

**中富良野町 なかふらのサイクリング**

自転車でチェックポイントを制限時間内に回ると、抽選で特産品が当たります。ゴール後の昼食はジンギスカンをご用意。レンタルサイクルもあります。(要予約)

日時 9月24日(日) 8:00~  
場所 役場裏駐車場集合  
コース ゆっくりライドかロングライド(30~40km)のいずれかを選択  
料金 2,000円  
申込期限 9月20日(水)  
申込み・問合せ なかふらの観光協会 ☎3033

**南富良野町 道の駅感謝祭**

農産物、ソフトクリーム、コーヒーは特別価格で提供! お楽しみ抽選会やビンゴ大会も開催します。  
日時 9月16日(土) 9:00~  
場所 道の駅屋外売店前  
問合せ (株)南富良野町振興公社 ☎2100

**占冠村 第37回紅葉祭り**

なめこ汁(1杯100円)は完売必至のためお早めに! ローストシカ肉、ヤマメのから揚げ、野菜の直売のほか、厚岸町から直送のカキやサンマも味わえます。豪華賞品が当たる大抽選会も開催。村のゆるキャラ、しむかっぴーも遊びに来るよ~!  
日時 10月1日(日) 10:00~  
場所 農村公園(道の駅となり)  
問合せ 占冠・村づくり観光協会 ☎8010



今回は…

**晴れ時々くもい 一時雨**

**なないろニカラダボリ**

~ みんなで夏祭りを楽しみました ~

通所者の皆さんに優しく接していただき、張もほぐれ、普段以上の力を発揮して2時間ほど頑張



くじ引きで景品選び♪



夏祭りの出店には長蛇の列!

る児童は布切りや清掃、配膳(はいげん)作業など実際のお仕事体験もしています。初日は「大丈夫かな?」と不安を抱えていた子どもたちも、職員や通所者の皆さんに優しく接していただき、張もほぐれ、普段以上の力を発揮して2時間ほど頑張

るるまでになつていました。長期休中のほかにも、定期的の実施できるようにしたいと思っています。  
8月初めに行つた夏祭りには、保護者を含め約50人が来場しました。焼きそばや焼き鳥、フランクフルト、かき氷などのメニューのほか、くじ引きやヨーヨー釣りコーナーを設け、皆さんに楽しんでいただきました。保護者同士、職員との交流も図られ、なかなか事業所の様子を見る機会がない保護者の皆さんには、良い機会になったと思います。今後周囲の方々と交えた活動を増やしながら、より大きな活動をしていければと考えています。

★ 町内3つの障がい福祉サービス事業所の出来事を、月替わりでお伝えしています ★



**救急車は適切に利用しましょう**

「フアイヤーマンから炎のメッセージ」



近年、救急車の出動件数は増加傾向にありますが、搬送された人の約3分の1が入院を必要としない軽症です。救急車や救急医療の安易な利用により本来に必要としている人に救命の手が差し伸べられないという深刻な事態も起きかねません。皆さん自身のいざというときのためにも、救急車は適切に利用してください。

● **実際に救急車が呼ばれたケース**

- ・ 蚊に刺されてかゆい
- ・ 日焼けをしてヒリヒリする
- ・ 病院でもらった薬がなくなった
- ・ 今日、入院予定日だから
- ・ 病院で長く待つのが面倒

● **次のような症状がみられたら、ためらわずに119番通報をしてください**

【頭】 激しい頭痛 / 突然の高熱

【顔】 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる / 笑つと口や顔の片方がむがむ / ざれつがまわりにくくなる、

近年、救急車の出動件数は増加傾向にありますが、搬送された人の約3分の1が入院を必要としない軽症です。救急車や救急医療の安易な利用により本来に必要としている人に救命の手が差し伸べられないという深刻な事態も起きかねません。皆さん自身のいざというときのためにも、救急車は適切に利用してください。

● **救急隊へ伝えてほしいこと**

- ・ 事故や具合が悪くなった状況
- ・ 救急隊が到着するまでの変化
- ・ 具合の悪い方の情報(持病、かかりつけの病院、普段飲んでいる薬、医師の指示など)

このほかにも、保険証や診察券、おくすり手帳、また乳幼児の場合は母子手帳を用意しておくこと救急処置がスムーズに進みます。



問合せ 上富良野消防署救急救助係 ☎2119

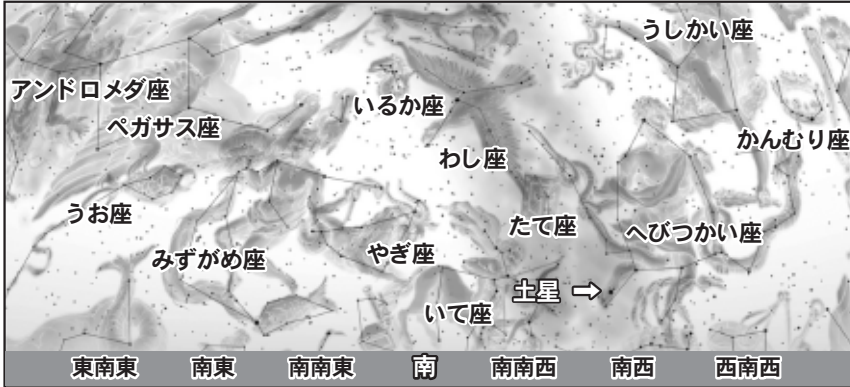


# 夜空を見上げれば...

問合せ  
教育振興課社会教育班 ☎5511

☆9月の上富良野の星空は...

StelaNavigator Ver.9 ©1992-2013 AstroArts Inc.



上は9月16日(土)午後8時の上富良野の星空です。秋を迎えても南西の空には、まだ「さそり座」「へびつかい座」「ヘルクレス座」など夏を代表する星座が輝いています。このころには日没後に空が明るい「薄明」状態も午後7時過ぎには終わり、早い時間から星空を仰ぐことができます。

へびつかい座にある土星は少しずつ太陽に近づき、10月以降は見るのが難しくなります。目立つ星々が少ない秋の星座でひときわ目立つのが、南東に見える「ペガサス(ペガサス)の四辺形」です。この四辺形はすべてがペガサス座ではなく、左上の1個は「アンドロメダ座」に属しています。アンドロメダ座といえば、思い浮かぶのは「アンドロメダ大星雲(M31)」。



4等ほどの明るさなので、位置さえわかれば肉眼でも確認することができます。カメラでも簡単に写すことができるので挑戦してみてください。銀河系の大きさは10万光年ほどといわれていますが、この星雲は直径22万光年で銀河系からは230万光年の距離にあると観測されています。つまり、私たちは230万年前の光を見ていることとなります。



9月16日0時ごろの東京での北斗七星

北側に目を移すと「おおぐま座」の北斗七星がかなり低く見えています。北海道に住む私たちにとっては北斗七星が沈まないのは当たり前ですが、緯度が低い東京ではひしゃくの柄の一部が地平線の下に沈んでしまいます。さて、この北斗七星のひしゃくの端から2番目とその脇にある星はアラビアではその昔、兵士として徴用されるか否かの視力検査に用いられたとの話があります。明るい方の星は2等星の「ミザール」、暗い方の星は4等星の「アルコル」(目だめし、かすかな者の意味)と呼ばれています。アルコルは日本で見えなくなる年齢に達すると、死期が近いということで「死兆星」と呼ばれているそうです。ところで、このミザールを望遠鏡で見るとさらに4等星との二重星でもあることがわかります。迷信に関係なく、空の澄んだ夜に視力検査をしてみませんか？

## たくさんのご寄付 ありがとうございました

- 町へ
- ◎伊藤未雄さん(旭川市) 2万円
  - ◎谷本博昭さん 10万円
- ラベンダーハイツへ
- ◎栄町女性部 清拭用布140枚  
ティッシュペーパー50箱
- 社会福祉協議会へ
- ◎サッポロビールホップ会 2万円
  - ◎伊藤未雄さん(旭川市) 2万円
  - ◎海老名明美さん(中富良野町) 5万円
  - ◎小野寺敏昭さん 50万円
  - ◎旭川地方隊友会上富良野支部 2万円

## 10月の天体観望会

NPO法人東亜天文学会会員の犬上達也さんを講師に望遠鏡を使って月や土星などを観察するほか、解説を聞きながら秋の星座などを眺めます。

中止の場合は16時以降に連絡します。

日時 10月13日(金) 19:00~20:30  
場所 上富良野西小学校チャレンジ天文台  
定員 25人(中学生以下は保護者同伴)  
参加料 無料  
申込期限 10月11日(水)  
申込み・問合せ  
教育振興課社会教育班 ☎5511

発行日 平成29年9月10日  
発行 上富良野町  
編集 町民生活課自治推進班  
印刷 (株)総北海

ご意見・ご感想をお寄せください。  
☎071-0596  
北海道空知郡上富良野町  
大町2丁目2番11号  
☎0167-6985 FAX0167-5362  
メール: jichi@town.kamifurano.lg.jp

● 人のうごき ●  
( )は前月比

平成29年8月31日現在

人口 11,007人 ( - 1 )  
男 5,617人 ( - 1 )  
女 5,390人 ( ± 0 )  
世帯 5,404世帯 ( - 18 )



8/24 ラベンダーハイツのデイサービスセンターの夏祭り。輪投げなどで祭り気分を楽しみました